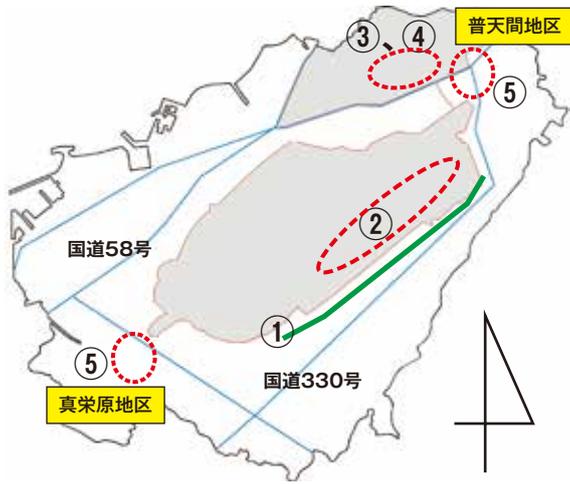


成長する、ねたての都市ぎのわん



宜野湾市は、米軍普天間飛行場やキャンプ瑞慶覧の返還後の跡地利用計画など、さまざまなまちづくりに関する事業を行っています。今回は次の5つの事業について、その進捗状況をご紹介します。

- ①市道宜野湾11号道路整備事業
- ②巡回道路予定地における埋蔵文化財緊急発掘調査事業
- ③基地内遺跡ほか発掘調査事業（キャンプ瑞慶覧基地内）
- ④キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地利用計画
- ⑤普天間飛行場周辺まちづくり事業

①市道宜野湾11号道路整備事業

平成26年度より防衛省補助金を活用して、市道宜野湾11号道路実施設計業務を行っており、普天間飛行場内で道路設計に関する測量調査などを進めています。今後はこの調査結果をもとに、用地測量や用地取得、道路工事へと順次行っていきます。



測量調査の様子

②巡回道路移設予定地における埋蔵文化財緊急発掘調査事業

沖縄防衛局からの依頼を受け、市道宜野湾11号道路整備にかかる普天間飛行場内巡回道路の、移設工事予定地内の文化財を把握する調査を、昨年12月まで行いました。調査により戦前まで普天間飛行場内に所在していた宜野湾集落の屋敷跡・畑跡などが確認され、現在これらの緊急発掘調査を進めています。



重機掘削による調査状況

③基地内遺跡ほか発掘調査事業（キャンプ瑞慶覧基地内）

文化庁補助金を活用して、西普天間住宅地区（キャンプ瑞慶覧）で、文化財を把握する調査を昨年度より行っています。調査により斜面緑地では、喜友名・新城地域の湧泉・水田跡、ハウジングエリアでは、戦前の土留や今から約800年前頃と考えられる柱の跡などが確認されています。

今後も継続して地区全域を対象として調査を行い、文化財の把握を進めてまいります。



斜面緑地で確認された湧泉（バンガー）

④キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地利用計画

3月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区は、国から「拠点返還地」の指定を受けて今後の返還跡地利用の先行モデルとして国の積極的な支援を受けながら、国、県、市と地主会が連携して跡地利用を進めています。

今年度は、国際医療拠点や人材育成施設を配置した土地利用計画（修正案）を作成し、関係地権者にアンケートや説明会を実施しました。

次年度は、跡地利用計画の策定を行い、返還および支障除去措置後の迅速な事業化に向けて準備を進めていきます。



普天間ハウジング

⑤普天間飛行場周辺まちづくり事業

普天間飛行場の立地を前提とし、普天間街道を通じて発展してきた2つの商業地域（普天間地区・真栄原地区）の、生活文化を交流の形成資源として活用、地域の活性化、生活環境の改善につながるまちづくりの実施を目的とし、平成26年度は防衛省補助金を活用して、実施計画を策定します。



真栄原地区まちづくりイメージ図

問合せ：企画政策課 ☎893-4411 内線416